

たまがわデイサービス第2回運営推進会議実施報告書

令和6年1月23日

事業所名	たまがわ高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症型通所介護
電話番号	(5732) 1023	報告者 職・氏名	生活相談員
開催日時	令和6年1月23日		
開催場所	大田区下丸子4-23-1 たまがわ高齢者在宅サービスセンター 会議室		
出席者 7名	(内訳) 利用者 1名 利用者家族 1名 地域の代表 民生委員 1名 区・さわやかサポート 地域包括支援センターやぐち職員 1名 その他 介護支援専門員 1名(利用者担当) 事務局 管理者・生活相談員		
◆活動報告・活動計画 活動状況報告書・事業計画書の通り			
◆意見交換			
【ご家族】 ・認知症サポーター養成講座など、このような集まりがある事を知らなかった。ただ、今は日々の対応でいっぱいなので、母への対応を「より良くしよう」とは思わない。母は暴言を吐いたり、徘徊をするわけではないので助かるが、何が不満なのか分からないことに拘って何度も言うてくることもある。その時その時の対応をするが、ストレスが溜まる。 ・母は主人と同居しているが、一人暮らしの時より認知症の進行が緩やかに感じる。誰かがいるという安心感があるからなのかもしれない。			
【ご本人】 ・こういう場所に来ることが無いから何を話しているのかわからない。一人きりで住んでるから。			
【民生委員】 ・明らかに認知症があると分かっているでもご家族が知らないふり(認めていない?)をされていることがある。昨夏、マンションの地下駐輪場からマンションの上までひたすらグルグル回っている人がいた。声を掛けたところ怒っており、聞く耳を持たず後方から見守る事しかできなかった。倒れる寸前に警備員さんが止めてくれ、入院することになった。ご家族(長男)と同居しているが海外のお仕事をされているようで夜中に仕事をしており、昼間は寝ているか出勤している様子。 ・パーキンソンのお薬を服用している方で幻覚症状があり、警備システムから民生委員に連絡がきた事があり、訪問看護が入っている方だったので、連絡を取り内服薬を変更してもらった方がいた。 民生委員の見解として、ご家族が居らっしゃらない单身の方のほうが介入しやすくサービスに繋げやすい傾向にある。ご本人が拒否する事もあるが、介護サービスが必要で近隣の方が心配している様な方でもご家族がサービス導入を拒否することがあり難しさを感じている。 ・マンションには担当の民生委員が2名いるが住居者が多く対応しきれないため、自身でボランティアの会を発足し、月に1回会合を開いている。そこで最近顔を見ない方の情報を共有したり、お祭りなどのチラシを配って高齢者や障害者の方などに声を掛けている。			
【地域包括支援センターやぐち】 ・認知症サポーター養成講座のチラシ配布。			
【介護支援専門員】 ・独居の方はご本人の拒否などがあり、包括職員と共に訪問するが介入が難しいことがある。見守り程度に訪問して様子を確認している。ご家族が居らっしゃる方であれば、包括へ早めに相談してもらえると助かる。			
次回開催日 令和6年7月16日(火) 第18回運営推進会議開催			